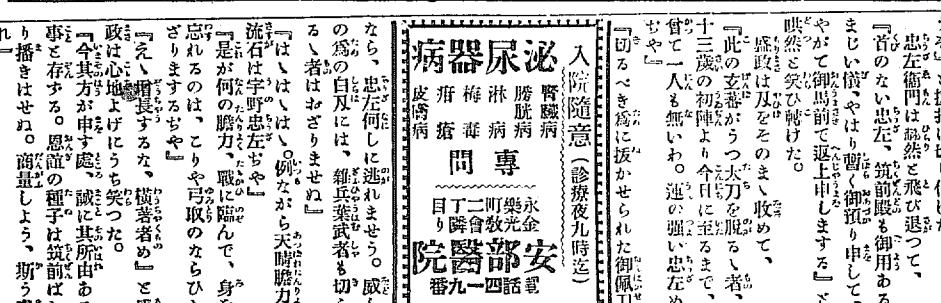




2

加賀に宇野忠左衛門ある事は、筑前
 殿にも御存知な事おざるまい。然
 らば證明なうては、迂濶に御目見も
 叶ひますまい。
 『證明くれう、祐筆呼べ』
 『御直書一向望みおどられ』
 『然らば何か?』
 『殿の御首級おざりまする』
 『やあ女番が首か。望みならば呉れ



京竹製内金庫の堅牢
 たるに既に世に評定あり
 ③財寶即ち生命なり
 特約販賣店
 和洋金物商
 藤釘本 藤次郎本店
 京城本町二丁目
 電話 二四七四番
 振替貯金京城二五〇番
 〇御申越次第目録進呈す

東實 ◎金庫を使用せざる人は
才實をばざる人は



をなし、強迫觀念にとりて無稽な事を怖れる心持となり肉體的には頭が重苦くなり、且つ鈍く痛みを覺え、夜は安眠が出来ず、食欲は進まず、驚く可き精力主義を發揚してゐる人もある其面影者の家系には遺傳價值に申風や、卒中で夭死の人が多かつたにも拘らず、健腦丸常用の御藥

す便通がなく、動作が高ぶり、何事をしてもスグ疲れ、易く元氣がない、ハチナと思つた時はモー立派な神經衰弱症に陥つたのであつて捨て置けば段々重くなる計り、コン時、既に一步過れば自殺をするたり折角の事を藥を抛棄したりするのだからよくよく適切な養生をせねばならぬ。

●適切な養生

だから今の時を餘程注意して、少しでも自分で悪いと思つたら直ぐ養生を心懸けねばならぬ、但し養生も其の爲方を過ると何の効もないばかりか、

てかゝる効果を得たのであつた。



●病でない程でなき人

所て又腦神經の弱症、といふ程ではないが、前に何か然ういふ方に降があるが、前に述べた頭痛持とか逆上症とか種々の人、斯ういふ人々は項角性分で爲方が無いと言つて打捨やくもののであるが之が甚だ悪い。彼々々に大變な藥をする事がある。而して腦神經ヒステリー等の患者は、必ず常期然ういふ容態のあるものでさうから、少しでも腹那氣味があるやう、早速健腦片で治して仕舞ふが、

●製藥所の醫藥科に良好な醫藥學

[illegible]

<p>模範 純梓 培養 三才 不才</p>	<p>鮫牛乳</p>	<p>太正肥腎藥 四町東邊 場牧亞東 (廿二五話電)</p>	<p>小兒病 (意醫談入)</p>	<p>外科 (意醫談入)</p>	<p>內科</p>	<p>島崎病院 院長 島崎龍一</p>	<p>尼崎汽船 出帆</p>
<p>大船代 有代丸 秀代丸 右代丸 左代丸 第二太湖丸</p>	<p>北九州丸 嘉陽丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>江陵丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>
<p>大船代 有代丸 秀代丸 右代丸 左代丸 第二太湖丸</p>	<p>北九州丸 嘉陽丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>江陵丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>
<p>大船代 有代丸 秀代丸 右代丸 左代丸 第二太湖丸</p>	<p>北九州丸 嘉陽丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>江陵丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>
<p>大船代 有代丸 秀代丸 右代丸 左代丸 第二太湖丸</p>	<p>北九州丸 嘉陽丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>江陵丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>
<p>大船代 有代丸 秀代丸 右代丸 左代丸 第二太湖丸</p>	<p>北九州丸 嘉陽丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>江陵丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>	<p>三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸 三浦丸</p>



盛政は物見を去つた。忠左衛門も
 恩従した。

新刊と批評 此種雑誌の刊行は

新天地 (十月號) 諸博士御大

關する犯罪を始め中絶の朝鮮政治と
 國の盛衰 犯罪の懲罰と懲罰政治と
 司中絶國局長と議員の選出と懲罰政治と
 有等なる其地獄を多々有る有益記事
 多々有る其地獄を多々有る有益記事
 多々有る其地獄を多々有る有益記事

朝鮮公論 (十月號) 大東日報編輯

高麗の朝鮮の教育の進歩と朝鮮の
 高麗の朝鮮の教育の進歩と朝鮮の
 高麗の朝鮮の教育の進歩と朝鮮の

海潮 (十一月號) 清報社を載す (一)

[illegible]

A dark, textured surface, possibly a book cover or endpaper, with a vertical strip of lighter material on the left side. The texture is grainy and uneven, with some lighter patches and darker areas. The vertical strip on the left appears to be a hinge or a piece of tape. There are some small, light-colored specks and marks scattered across the surface.

[illegible]